



# Cisco Unified Communications Manager Assistant

この章では、Cisco Unified Communications Manager Assistant 用にマネージャの電話機とアシスタントの電話機を共有回線またはプロキシ回線のいずれかで設定することに関する情報を提供します。BAT スプレッドシートを使用したマネージャ-アシスタント関連付けの追加と更新、およびマネージャ-アシスタント用のデフォルトおよびカスタムの CSV データ ファイルの作成に関する情報も提供します。

Cisco Unified Communications Manager 一括管理 (BAT) を使用して、Cisco Unified Communications Manager で Cisco Unified Communications Manager Assistant 機能を管理できます。一括トランザクションで、マネージャまたはアシスタントをその関連付けとともに追加、更新、および削除することができます。

Cisco Unified Communications Manager Assistant に関するタスクと情報の詳細については、『*Feature Configuration Guide for Cisco Unified Communications Manager*』 (<http://www.cisco.com/c/en/us/support/unified-communications/unified-communications-manager-callmanager/products-installation-and-configuration-guides-list.html>) を参照してください。

- [Cisco Unified Communications Manager Assistant 用電話機および回線](#) (1 ページ)
- [マネージャ - アシスタント関連付け用 CSV データ ファイル](#) (12 ページ)
- [マネージャ-アシスタント関連付け用 CSV データ ファイル関連のトピック](#) (17 ページ)

## Cisco Unified Communications Manager Assistant 用電話機 および回線

Cisco Unified CM Assistant 機能は、いくつかの Cisco Unified IP Phone モデルおよびデバイス プロファイルで機能します。Cisco Unified CM Assistant では、Cisco Unified CM Assistant 機能と共に使用するために、マネージャとアシスタントの回線を設定するモードが2つ提供されています。

- **プロキシモード**: プライマリ マネージャ回線は、アシスタントの電話機上に異なる電話番号を持つプロキシ回線と関連付けられます。

- 共有回線モード：マネージャとアシスタントには、それらの電話機上に、同じ電話番号とパーティションを使用する共有回線があります。



(注) ユーザーをデバイスまたは電話機に関連付けることができるのは、デバイスまたは電話機で Unified CM Assistant をサポートしている場合だけです。

BAT を使用して、マネージャの電話機とアシスタントの電話機をプロキシ回線または共有回線のいずれかで設定できます。

#### 関連トピック

[Cisco Unified Communications Manager Assistant のプロキシ回線モードでの電話機のセットアップ \(2 ページ\)](#)

[Cisco Unified Communications Manager Assistant の共有回線モードでの電話機のセットアップ \(9 ページ\)](#)

[Cisco Unified Communications Manager へのマネージャ/アシスタントアソシエーションの挿入](#)

## Cisco Unified Communications Manager Assistant のプロキシ回線モードでの電話機のセットアップ

Unified CM Assistant プロキシ回線サポート用にマネージャ電話機とアシスタント電話機の設定を準備するには、次のタスクを実行する必要があります。

#### 手順

**ステップ 1** システムで Unified CM Assistant 要件をセットアップして設定します。Cisco Unified CM Assistant 設定ウィザードを使用することをお勧めします。このウィザードは、Unified CM Assistant マネージャ/アシスタント用の電話機テンプレート、ルートポイント、パーティション、変換パターン、および Cisco Unified CM Assistant サービス用のコーリングサーチスペースを自動的に作成します。Cisco Unified CM Assistant 設定ウィザードを実行するには、BAT とウィザードが同じサーバー上に存在する必要があります。

Cisco Unified CM Assistant 設定ウィザードの実行方法については、『*Cisco Unified Communications Manager 機能設定ガイド*』を参照してください。

- (注) Unified CM Assistant 設定ウィザードを一回だけ使用して、システムの Unified CM Assistant 設定要件をセットアップできます。設定ウィザードの実行後は、ウィザードで設定を表示することはできますが、変更はできません。

**ステップ 2** マネージャ用およびアシスタント用の新しい電話機とユーザーを追加するには、Unified CM Assistant 設定ウィザードによって BAT サーバ上に作成された Unified CM Assistant マネージャおよび Unified CM Assistant アシスタント電話機テンプレートを使用します。電話機をプロキシモード専用で設定するには BAT テンプレートを使用します。

**ステップ 3** 既存のマネージャ電話機とアシスタント電話機の場合は、次の方法のどちらかを使用して、Unified CM Assistant 電話機テンプレートに合わせてマネージャ電話機とアシスタント電話機を変更できます。

- BAT の [回線の追加 (Add Lines) ] 機能を使用すると、Unified CM Assistant 電話機テンプレートに類似するよう既存の電話機を変更できます。
- マネージャ用およびアシスタント用の Unified CM Assistant 電話機テンプレートを使用して、元の電話機を削除し、新しい電話機を追加することができます。

**ステップ 4** マネージャ用およびアシスタント用に電話機と回線を設定した後、Unified CM Assistant 制御のためにマネージャ回線とアシスタント回線を関連付けます。

#### 関連トピック

[Cisco Unified Communications Manager Assistant マネージャ電話テンプレートのデフォルト設定 \(3 ページ\)](#)

[既存の電話機および UDP への電話回線の追加](#)

[データベースへの電話機の追加](#)

[マネージャおよびアシスタントのプロキシ回線の設定 \(4 ページ\)](#)

## Cisco Unified Communications Manager Assistant マネージャ電話テンプレートのデフォルト設定

次の表に、Unified CM Assistant マネージャ電話テンプレートのデフォルト設定のリストを示します。

表 1: プロキシ回線用マネージャ電話テンプレートのデフォルト設定

フィールド	デフォルト値 (Default Value)
[ソフトキー テンプレート (Softkey Template) ]	標準のソフトキー テンプレート マネージャ
[電話ボタンテンプレート (Phone Button Template) ]	Standard Cisco Unified IP Phone 7960 (2 回線)
[回線 1 (Line 1) ]	プライマリ回線 <ul style="list-style-type: none"> <li>• CSS = Generated_CSS_I_E</li> <li>• パーティション = Generated_Managers</li> </ul>
[回線 2 (Line 2) ]	着信インターコム回線 <ul style="list-style-type: none"> <li>• CSS = Generated_CSS_I_E</li> <li>• パーティション = Generated_Everyone</li> <li>• ヘッドセット オプションによる自動応答も設定。</li> </ul>
サービス (Services)	アシスタント プライマリ サービス

次の表に、Unified CM Assistant アシスタント電話テンプレートのデフォルト設定のリストを示します。

表 2: プロキシ回線用アシスタント電話テンプレートのデフォルト設定

フィールド	デフォルト値 (Default Value)
[ソフトキー テンプレート (Softkey Template) ]	ソフトキー アシスタント
[電話ボタン テンプレート (Phone Button Template) ]	Standard Cisco Unified IP Phone 7960 Assistant
[拡張モジュール 1 (Expansion Module 1) ]	14 ボタン拡張モジュール
[電話本体に 1 回線、拡張モジュールに 5 回線 (One line on base phone and five lines on expansion module) ]	プロキシ回線では、[電話本体に 1 回線、拡張モジュールに 5 回線 (One line on base phone and five lines on expansion module) ] のデフォルト設定は以下の通りです。 <ul style="list-style-type: none"> <li>• CSS = Generated_CSS_M_E</li> <li>• パーティション = Generated_Everyone</li> </ul>
[回線 7 (Line 7) ] (拡張モジュール (On Expansion Module) )	インターコム回線 <ul style="list-style-type: none"> <li>• CSS = Generated_CSS_I_E</li> <li>• パーティション = Generated_Everyone</li> <li>• ヘッドセット オプションによる自動応答も設定。</li> </ul>

## マネージャおよびアシスタントのプロキシ回線の設定

BAT は、電話機のプライマリマネージャ回線をアシスタント電話機のプロキシ回線にマップすることによって、Unified CM Assistant 回線設定を割り当てます。Unified CM Assistant ウィザードで作成した Unified CM Assistant のマネージャとアシスタントのデフォルトテンプレートを使用すると、1～5 本のマネージャ回線を 1 台のアシスタント電話機に関連付けることができます。次の例に、Unified CM Assistant テンプレートを使用して設定した電話機に対して、2 台のマネージャ電話機を 1 台のアシスタント電話機に関連付けるときの回線設定を示します。

### マネージャ 1 の電話

- 回線 1 : プライマリ回線
- 回線 2 : インターコム回線

### マネージャ 2 の電話

- 回線 1 : プライマリ回線

- 回線 2 : インターコム回線

#### アシスタントの電話

- 回線 1 : プライマリ回線
- 回線 2 : マネージャ 1 のプロキシ回線
- 回線 3 : マネージャ 2 のプロキシ回線
- 回線 4 ~ 6 は未割り当て
- 回線 7 : インターコム回線

#### アシスタントの電話

回線 4 ~ 6 は、他のマネージャとの関連付けに使用できます。

複数のマネージャを 1 台のアシスタント電話機に関連付けると、BAT は、CSV データファイル内での順序に基づいてプロキシ回線を作成します。BAT は、マネージャとアシスタント間の最初の回線を作成するとき、すべてのプライマリ マネージャ回線をアシスタント電話機の未割り当て回線にプロキシ回線として割り当てます。BAT はアシスタント電話機のすべての回線が割り当てられるまで、または CSV レコード内のすべてのマネージャが関連付けられるまで、CSV レコードの順序に基づいて、マネージャとアシスタント間のプロキシ回線を 1 つずつ作成し続けます。

複数のアシスタントを 1 本のマネージャ プライマリ回線に関連付けると、BAT は、CSV データ ファイル内での順序に基づいてアシスタントをマネージャに割り当てます。BAT は、使用可能な回線の最初のアシスタント番号を基に、プライマリ マネージャ回線を割り当てます。たとえば、マネージャの電話機にプライマリ回線が 2 本あるとします。CSV データファイルで最初にリストされているアシスタントには、使用可能な回線が 1 本しかありません。その結果 BAT は、マネージャの 1 本のプライマリ回線と、CSV レコードにリストされているすべてのアシスタント電話機の 1 本のプロキシ回線に関連付けます。

### Cisco Unified Communications Manager Assistant マネージャ電話回線の設定

次の表に、マネージャ-アシスタント関連付けを使用する際に BAT で設定できる、マネージャ電話で可能なすべての回線設定を示します。

表 3: マネージャ電話の回線設定

使用可能な回線の数	構成
1 回線	回線 1 : プライマリ回線 (Unified CM Assistant により制御) インターコム回線 (なし)

使用可能な回線の数	構成
2 回線 (デフォルトの Unified CM Assistant マネージャ電話テンプレート)	回線 1 : プライマリ回線 (Unified CM Assistant により制御) 回線 2 : インターコム回線 (オプション)
3 回線以上	最後の回線がインターコム回線として設定されます。 アシスタント電話で使用可能な回線の数は、プロキシ回線と関連付けられるマネージャ回線の数を決定します。

### Unified CM Assistant 電話回線の設定

次の表では、マネージャ/アシスタントアソシエーション操作で BAT によって設定されるアシスタント電話機のデフォルトの回線設定を示します。

表 4: Assistant 電話回線の設定

使用可能な回線数	構成
1 回線	回線 1 : プロキシ回線 インターコム回線 (なし)
2 回線	回線 1 : プライマリ回線 回線 2 : プロキシ回線 インターコム回線 (なし)
3 回線	回線 1 : プライマリ回線 回線 2 : プロキシ回線 回線 3 : インターコム回線
4 回線以上	回線 1 : プライマリ回線 回線 2 : プロキシ回線 最後の回線はインターコム回線として設定される 他のすべての回線はプロキシ回線として設定される
7 回線 (デフォルトの Unified CM Assistant アシスタント電話機テンプレート)	回線 1 : プライマリ回線 回線 2 ~ 6 はプロキシ回線として設定可能で、最大 5 つのマネージャをサポートできる 回線 7 : インターコム回線

## Cisco Unified Communications Manager Assistant マネージャ電話およびアシスタント電話のプロキシ回線例

それぞれが3つの既存の回線を持つ2つのマネージャを6つの未割り当ての回線を持つアシスタント電話に関連付けます。BATは、マネージャおよびアシスタントの電話で以下の回線設定を設定します。

### マネージャ1の電話

- 回線1：マネージャプライマリ回線（DNは2355）。
- 回線2：マネージャプライマリ回線（DNは2366）。
- 回線3、マネージャインターコム回線。

### マネージャ2の電話

- 回線1：マネージャプライマリ回線（DNは2656）。
- 回線2：マネージャプライマリ回線（DNは2666）。
- 回線3、マネージャインターコム回線。

### アシスタントの電話

- 回線1：アシスタントプライマリ回線（DNは3333）。
- 回線2：マネージャ1のプロキシ回線1（DNは3455）。
- 回線3：マネージャ2のプロキシ回線1（DNは3656）。
- 回線4：マネージャ1のプロキシ回線2（DNは3366）。
- 回線5：マネージャ2のプロキシ回線2（DNは3666）。
- 回線6：使用可能。
- 回線7：アシスタントインターコム回線。

### アシスタントの電話

既存のプライマリ回線を持つマネージャの電話を関連付ける場合、アシスタントの電話の未割り当て回線の数が、マネージャの電話のプライマリ回線の数と同数またはそれ以上あることを確認する必要があります。たとえば、BATで、4つの設定済みプライマリ回線が存在するマネージャと3つの使用可能な回線しかないアシスタントの間に関連付けを作成することはできません。

## Cisco Unified Communications Manager Assistant の新しいマネージャ/アシスタント電話機でのプロキシ回線のセットアップ

新しい Unified CM Assistant マネージャ電話機とアシスタント電話機でプロキシ回線を使用するようにセットアップすることができます。

### 始める前に

1. Unified CM Assistant 設定ウィザードを実行して、Unified CM Assistant テンプレート、パーティション、およびコーリングサーチスペースを作成します。
2. 1つのアシスタントに5つ以上のマネージャを関連付けるには、Unified CM Assistant テンプレートにアクセスして、新しい名前で作成する必要があります。マネージャが追加されるごとに、テンプレートに行を追加していきます。

### 手順

**ステップ 1** [BAT管理 (BAT Administration)] > [電話 (Phones)] > [電話テンプレート (Phone Template)] の順に選択します。

[電話テンプレートの設定 (Phone Template Configuration)] ウィンドウが表示されます。

(注) BAT Unified CM Assistant テンプレートは書き込み保護されているため、これらのテンプレートを変更するには、テンプレートのコピーを作成し、それを編集して変更する必要があります。デフォルトのマネージャ電話機テンプレートフィールドの説明については、「[表 1: プロキシ回線用マネージャ電話テンプレートのデフォルト設定 \(3 ページ\)](#)」を参照してください。デフォルトのアシスタント電話機テンプレートフィールドの説明については、「[表 2: プロキシ回線用アシスタント電話テンプレートのデフォルト設定 \(4 ページ\)](#)」を参照してください。

**ステップ 2** 次のオプションを使用して、マネージャ電話機用の CSV データ ファイルとアシスタント電話機用の別のファイルを作成します。

- a) BAT スプレッドシートを使用して、[電話 (Phones)] タブを選択します。
- b) テキスト エディタを使用し、マネージャまたはアシスタント テンプレート フィールドをガイドして参照します。

### 次のタスク

「[データベースへの電話機の追加](#)」の手順に従って、新しい電話機を挿入します。

## Cisco Unified Communications Manager Assistant の既存のマネージャ/アシスタント電話機でのプロキシ回線のセットアップ

既存の Unified CM Assistant マネージャ電話機とアシスタント電話機でプロキシ回線を使用するようにセットアップすることができます。



## 手順

**ステップ 1** [一括管理 (Bulk Administration)] > [電話 (Phones)] > [回線の追加 (Add Lines)] の順に選択します。

[電話回線の追加 (Phone Add Lines)] ウィンドウが表示されます。

**ステップ 2** BAT 用に Unified CM Assistant テンプレートをコピーして変更しなければならない場合があります。

デフォルトのマネージャ電話機テンプレートフィールドの説明については「[表 1: プロキシ回線用マネージャ電話テンプレートのデフォルト設定 \(3 ページ\)](#)」を、デフォルトのアシスタント電話機テンプレートフィールドの説明については「[表 2: プロキシ回線用アシスタント電話テンプレートのデフォルト設定 \(4 ページ\)](#)」を参照してください。

(注) Cisco Unified CM Assistant 設定ウィザードを実行したときに、(パーティション名などの) 設定情報を変更した場合は、テンプレートを編集するときにフィールドで同じ設定情報を使用する必要があります。

**ステップ 3** 次のオプションのいずれかを使用して、マネージャ電話機用の CSV データ ファイルとアシスタント電話機用の別のファイルを作成します。

- BAT スプレッドシートを使用して、[回線の追加 (Add Lines)] タブを選択します。
- テキストエディタを使用し、マネージャまたはアシスタントテンプレートフィールドをガイドして使用します。

## 次のタスク

既存の電話機のマネージャ回線とアシスタント回線をセットアップすることができます。

## 関連トピック

[既存の電話機および UDP への電話回線の追加](#)

[マネージャ-アシスタント関連付け用 CSV データ ファイル関連のトピック \(17 ページ\)](#)

# Cisco Unified Communications Manager Assistant の共有回線モードでの電話機のセットアップ

Cisco Unified Communications Manager データベースに新しい電話機を追加するための BAT テンプレートを作成するときに、共有回線を使用するようマネージャ電話機とアシスタント電話機をセットアップできます。BAT を使用して新しい電話機をセットアップするための手順に従います。

## 始める前に

Cisco Unified Communications Manager での共有回線サポート用に Unified CM Assistant サービスパラメータをセットアップする必要があります。



- (注) Cisco Unified IP Phone モデル 7960 では、5 回線以上を含む電話ボタンテンプレートが必要です。

#### 手順

次のガイドラインに従って、新しいマネージャ電話機とアシスタント電話機を追加したり、既存のマネージャ電話機とアシスタント電話機を更新したりするための BAT テンプレートを作成します。

- マネージャ電話機については、「[共有回線モードのマネージャ電話の設定 \(10 ページ\)](#)」を参照してください。
- アシスタント電話機については、「[共有回線モードのアシスタント電話機の設定 \(11 ページ\)](#)」を参照してください。

#### 次のタスク

Unified CM Assistant 制御用にマネージャ回線とアシスタント回線を関連付ける必要があります。「[マネージャ - アシスタント関連付け用 CSV データ ファイル \(12 ページ\)](#)」の手順を実行します。

#### 関連トピック

- [データベースへの電話機の追加](#)
- [既存の電話機および UDP への電話回線の追加](#)

## 共有回線モードのマネージャ電話の設定

BAT テンプレートを作成して、新しいマネージャ電話を共有回線に追加、または既存のマネージャ電話を共有回線で更新するときには、次の電話設定を使用します。

- ソフトキー テンプレートを割り当てる：標準共有モード マネージャ。
- 必要に応じてプライマリ回線を追加し、アシスタントと共有する。
- プライマリ回線で音声メッセージング プロファイルを設定する。
- 着信インターコム回線を追加する（オプション）。
- 発信インターコム ターゲットのスピードダイヤル ボタンを追加する（オプション）。
- ユーザ ロケールを設定する。

#### 関連トピック

- [データベースへの電話機の追加](#)
- [Cisco Unified Communications Manager Assistant の共有回線モードでの電話機のセットアップ \(9 ページ\)](#)

## 共有回線モードのアシスタント電話機の設定

BATテンプレートを作成して共有回線による新しいアシスタント電話機を追加するか既存のアシスタント電話機を更新する場合、次の電話設定を使用します。

- ソフトキー テンプレートを割り当てます：標準アシスタント
- 付加的な回線に Cisco 14 ボタン拡張モジュール (7914) を使用している場合、BAT テンプレートで拡張モジュールのタイプを指定します。



(注) Cisco Unified IP Phone 7960 電話ボタンテンプレートには、拡張モジュール回線が含まれます。

- パーソナル プライマリ回線を追加します。
- 関連する各マネージャ用の共有回線を追加します。マネージャの電話のプライマリラインと同じ電話番号とパーティションを使用します。
- 着信インターコム回線を追加します (オプション)
- 短縮ダイヤルをマネージャのインターコム回線に追加します (オプション)
- ユーザ ロケールを設定します。

### 関連トピック

[データベースへの電話機の追加](#)

[Cisco Unified Communications Manager Assistant の共有回線モードでの電話機のセットアップ \(9 ページ\)](#)

## マネージャおよびアシスタントの共有回線の設定

BAT は、Cisco Unified CM Assistant の回線設定を、マネージャおよびアシスタントの電話機に割り当てられている共有回線に関連付けます。マネージャをアシスタントに関連付けるときには、マネージャの設定で共有回線モードを設定します。

共有回線モードでは、マネージャ回線が、アシスタント電話機の共有回線に対応します。たとえば、2 人のマネージャと 1 人のアシスタントを関連付けるには、アシスタントの電話機に、マネージャの電話機のプライマリ回線と同じ電話番号およびパーティションを使用する 2 回線を追加します。

### マネージャ 1 の電話

- 回線 1 : プライマリ回線 (DN は 2355)
- 回線 2 : インターコム回線 (オプション)

### マネージャ 2 の電話

- 回線 1：プライマリ回線（DN は 2875）
- 回線 2：インターコム回線（オプション）

### アシスタントの電話

- 回線 1：アシスタントのプライマリ回線（DN は 3356）
- 回線 2：マネージャ 1 との共有回線（DN は 2355）
- 回線 3：マネージャ 2 との共有回線（DN は 2875）
- 回線 4～6 は使用可能
- 回線 7：インターコム回線（オプション）

回線 4～6 は他のマネージャ用の共有回線として追加できます。

複数のマネージャ回線をアシスタントの電話機に追加した場合は、アシスタントの電話機のすべての回線で共有回線モードを使用する必要があります。アシスタントの電話機でプロキシ回線と共有回線を混在させることはできません。同様に、マネージャ 1 人に対し複数のアシスタントがいる場合は、すべての関連付けで共有回線モードを使用する必要があります。

共有回線モードを使用するマネージャに複数のアシスタントを関連付けると、BAT が Unified CM Assistant の関連付けを、共有回線モードを使用しているアシスタントにのみ適用します。

### 関連トピック

[マネージャ-アシスタント関連付け用 CSV データ ファイル関連のトピック](#)（17 ページ）

## マネージャ - アシスタント関連付け用 CSV データ ファイル

BAT を使用してマネージャ - アシスタントの関連付けを Cisco Unified Communications Manager データベースに挿入する際に、新しい関連付けの追加や、既存の関連付けの更新ができます。

マネージャ - アシスタントの関連付けを追加または更新するのに必要な CSV データ ファイルは、次の 2 つの方法のいずれかで作成できます。BAT スプレッドシートを使用するか、テキストエディタを使用して、CSV 形式のテキストファイルを作成します。

新しいマネージャに対する関連付けを作成する場合は、デバイス名を入力する必要があります。既存の Unified CM アシスタント レコードを使用してマネージャを更新する場合、これらのフィールドはオプションです。マネージャの回線数が 3 以上の場合、BAT はマネージャのインターコム回線をアシスタントのプロキシ回線に割り当てることを許可しません。

### 関連トピック

[BAT スプレッドシートを使用したマネージャ/アシスタント アソシエーションの追加または更新](#)（13 ページ）

[マネージャおよびアシスタントのファイル形式](#)

[マネージャおよびアシスタントのプロキシ回線の設定 \(4 ページ\)](#)

## BAT スプレッドシートを使用したマネージャ/アシスタント アソシエーションの追加または更新

BAT スプレッドシートを使用して、Unified CM Assistant アソシエーションを新規で追加したり、既存のものを更新したりします。BAT スプレッドシートには、マクロを使用するデータファイルテンプレートが含まれているため、マネージャとアシスタントの関連付けを簡単に追加、更新、または削除できます。

### 手順

BAT スプレッドシートを使用して新規 Unified CM Assistant アソシエーションを追加します。

- a) マネージャ/アシスタント アソシエーションをデフォルトの回線設定で作成するには、[デフォルトのマネージャ-アシスタントの CSV データ ファイルの作成 \(14 ページ\)](#) を参照してください。

マネージャおよびアシスタントの電話に関するデフォルト回線設定については、「[表 3: マネージャ電話の回線設定 \(5 ページ\)](#)」および「[表 4: Assistant 電話回線の設定 \(6 ページ\)](#)」を参照してください。

- b) デフォルトの回線設定に従わないプロキシ回線を割り当てるには、「[カスタムマネージャ/アシスタント CSV データ ファイルの作成 \(16 ページ\)](#)」を参照してください。

### 関連トピック

[CSV データファイルを作成するために BAT スプレッドシートのデータを収集する](#)

## BAT スプレッドシートを使用したマネージャとアシスタントの関連付けの追加および更新

BAT スプレッドシートには、マクロを使用するデータファイルテンプレートが含まれているため、マネージャとアシスタントの関連付けを簡単に追加、更新、または削除できます。

BAT スプレッドシートを使用して Unified CM Assistant の新しい関連付けを追加するときには、次の 2 つの方法でマネージャとアシスタントの関連付けを設定できます。

- デフォルトの回線設定を使用してマネージャとアシスタントの関連付けを作成する。マネージャとアシスタントの電話機のデフォルト回線設定については、「[表 3: マネージャ電話の回線設定 \(5 ページ\)](#)」および「[表 4: Assistant 電話回線の設定 \(6 ページ\)](#)」を参照してください。
- カスタム CSV データ ファイルを使用して、デフォルトの回線設定に従わないプロキシ回線を割り当てる。

### 関連トピック

- [CSV データファイルを作成するために BAT スプレッドシートのデータを収集する  
カスタム マネージャ/アシスタント CSV データ ファイルの作成 \(16 ページ\)](#)
- [デフォルトのマネージャ-アシスタントの CSV データ ファイルの作成 \(14 ページ\)](#)

## デフォルトのマネージャ-アシスタントの CSV データ ファイルの作成

BAT スプレッドシートを使用して、プロキシモードと共有モードの両方でデフォルトのマネージャおよびアシスタントの関連付けを挿入、更新、削除するための CSV データ ファイルを作成します。

BAT スプレッドシート内のすべてのフィールドの編集が終了したら、その内容を CSV 形式のデータ ファイルにエクスポートできます。ファイルは、ローカルワークステーション上の C:\XLSDataFiles または選択された既存の別のフォルダに保存され、次のデフォルトのファイル名が割り当てられます。

```
<type of operation>ManagerAssistants-timestamp.txt
```

ここで、<type of operation> は **insert** または **delete** のいずれかになります。「timestamp」はファイルが作成された正確な日時を表します。

### 手順

- 
- ステップ 1** BAT.xlt ファイルをダウンロードして開き、BAT スプレッドシートを開きます。
  - ステップ 2** スプレッドシートの機能を使用するように求められたら、[マクロを有効にする (Enable Macros)] をクリックします。
  - ステップ 3** マネージャおよびアシスタントの関連付けオプションを表示するには、スプレッドシートの下部にある [デフォルトのマネージャ-アシスタント (Default Managers-Assistants)] タブをクリックします。
  - ステップ 4** オプション ボタンが表示されるまで、テンプレートの右側にスクロールし、このトランザクションの関連付けのタイプを選択します。
    - [1 つのマネージャと複数のアシスタント (One manager, multiple assistants) ]
    - [1 つのアシスタントと複数のマネージャ (One assistant, multiple managers) ]
  - ステップ 5** すべての必須フィールドと関連するオプションフィールドに値を入力します。
    - a) [1 つのマネージャと複数のアシスタント (One manager, multiple assistants) ] ラジオ ボタンを選択した場合、各行に以下の情報を入力します。
      - [マネージャ ID (Manager ID) ] : マネージャのユーザ ID を最大 30 文字で入力します。
      - [アシスタント ID# (Assistant ID#) ] : マネージャを関連付けるアシスタントのユーザ ID を最大 30 文字で入力します。ここで、# 記号はマネージャに割り当てられるアシスタントの数を表します。

**ヒント** 複数のアシスタントを追加するには、[その他のアシスタントの追加 (Add more Assistants)] をクリックします。

b) [1つのアシスタントと複数のマネージャ (One assistant, multiple managers)] ラジオ ボタンを選択した場合、各行に以下の情報を入力します。

- [アシスタントID (Assistant ID)] : アシスタントのユーザ ID を最大 30 文字で入力します。
- [マネージャ ID# (Manager ID#)] : アシスタントを関連付けるマネージャのユーザ ID を最大 30 文字で入力します。ここで、# 記号はアシスタントに割り当てられるアシスタントの数を表します。

(注) 複数のマネージャを追加するには、[その他のマネージャの追加 (Add more Assistants)] をクリックします。

**ステップ 6** 実行する操作を選択します。

- 新規のマネージャおよびアシスタントの関連付けを作成するには、[挿入 (Insert)] をクリックします。
- マネージャおよびアシスタントの関連付けからマネージャまたはアシスタントを削除するには、[削除 (Delete)] をクリックします。

**ステップ 7** BAT スプレッドシートから CSV データ ファイルにデータを転送するには、[BAT 形式にエクスポート (Export to BAT Format)] をクリックします。

**ヒント** エクスポートした CSV データ ファイルの読み取り方法については、BAT 内の [マネージャ/アシスタントの挿入 (Insert Managers/Assistants)] ウィンドウで [サンプルファイルの表示 (View Sample File)] へのリンクをクリックします。

システムは、デフォルトのファイル名 <type of operation>ManagerAssistants-timestamp.txt を使用して、ファイルをローカルワークステーション上の C:\XLSDataFiles または選択された既存の別のフォルダに保存します。

---

## 次のタスク

CSV データ ファイルを Cisco Unified Communications Manager の最初のノードデータベースサーバにアップロードすれば、BAT からその CSV データ ファイルにアクセスできるようになります。

### 関連トピック

[サーバからのファイルのダウンロード](#)

[マネージャ-アシスタント関連付け用 CSV データ ファイル関連のトピック](#) (17 ページ)

[サーバへのファイルのアップロード](#)

## カスタム マネージャ/アシスタント CSV データ ファイルの作成

既存の電話機をマネージャ/アシスタント アソシエーションを使ってセットアップするには、BAT スプレッドシートの [カスタムマネージャ/アシスタント アソシエーション (Custom Managers-Assistants) ] タブを使用することができます。BAT スプレッドシートを使用して、アシスタント電話機上のプロキシ回線用のマネージャ/アシスタント アソシエーションを挿入または更新するためのカスタム CSV データ ファイルを作成します。

BAT スプレッドシート内のすべてのフィールドの編集が終了したら、その内容を CSV 形式のデータ ファイルにエクスポートできます。システムはデフォルトのファイル名 Custom Manager-Assistants-timestamp.txt を使用して、C:\XLSDataFiles またはローカルワークステーション上の選択した別の既存のフォルダにファイルを保存します。

### 手順

- 
- ステップ 1** Cisco Unified Communications Manager サーバから、BAT.xlt ファイルをダウンロードします。
  - ステップ 2** BAT.xlt ファイルを開きます。スプレッドシートの機能を使用するように求められたら、[マクロを有効にする (Enable Macros) ] をクリックします。
  - ステップ 3** マネージャ/アシスタント アソシエーション オプションを表示するには、スプレッドシートの下部にある [カスタムマネージャ/アシスタント アソシエーション (Custom Managers-Assistants) ] タブをクリックします。
  - ステップ 4** テンプレートの右側にスクロールして、[プロキシ回線数 (Number of Proxy Lines) ] ボックスを表示させます。このボックスで、アシスタントに割り当てるプロキシ回線の数を入力します。入力された数に基づいて [プロキシ回線 DN (Proxy Line DN) ] 列と [マネージャ回線 DN (Manager Line DN) ] 列がスプレッドシートに追加されます。

すべての必須フィールドと該当するオプション フィールドに値を入力します。

- [マネージャ ID (Manager ID) ] : マネージャのユーザ ID を入力します。
- [デバイス名 (Device Name) ] : マネージャ電話機に割り当てるデバイス名を入力します。
- [インターコムの DN (Intercom DN) ] : マネージャのインターコム回線の電話番号を入力します。(オプション)
- [アシスタント ID (Assistant ID) ] : マネージャに関連付けられるアシスタントのユーザ ID を入力します。
- [デバイス名 (Device Name) ] : アシスタントの電話機に割り当てるデバイス名を入力します。
- [インターコムの DN (Intercom DN) ] : アシスタントのインターコム回線の電話番号を入力します。(オプション)
- [プロキシ回線 DN# (Proxy Line DN#) ] : アシスタント プロキシ回線の電話番号を入力します。



- [マネージャ回線 DN# (Manager Line DN#)] : マネージャ プロキシ回線の電話番号を入力します。

# 記号は、マネージャに関連付けられるプロキシ回線の数を表します。

**ステップ 5** BAT スプレッドシートから CSV データ ファイルにデータを転送するには、[BAT形式にエクスポート (Export to BAT Format)] ボタンをクリックします。

**ヒント** エクスポートした CSV データ ファイルの読み取り方法を確認するには、BAT 内の [マネージャ/アシスタントの挿入 (Insert Managers/Assistants)] ウィンドウで [サンプルファイルの表示 (View Sample File)] リンクをクリックします。

システムはデフォルトのファイル名 `Custom Manager-Assistants-timestamp.txt` を使用して、`C:\XLSDataFiles` またはローカル ワークステーション上の選択した別の既存のフォルダにファイルを保存します。

---

### 次のタスク

CSV データ ファイルを Cisco Unified Communications Manager の最初のノード データベース サーバーにアップロードすれば、BAT からその CSV データファイルにアクセスできるようになります。

### 関連トピック

[マネージャ-アシスタント関連付け用 CSV データ ファイル関連のトピック \(17 ページ\)](#)  
[サーバへのファイルのアップロード](#)

## マネージャ-アシスタント関連付け用 CSV データ ファイル関連のトピック

- [Cisco Unified Communications Manager Assistant 用電話機および回線 \(1 ページ\)](#)
- [マネージャ - アシスタント関連付け用 CSV データ ファイル \(12 ページ\)](#)
- [Cisco Unified Communications Manager へのマネージャ/アシスタントアソシエーションの挿入](#)
- [Cisco Unified Communications Manager Assistant のプロキシ回線モードでの電話機のセットアップ \(2 ページ\)](#)
- [Cisco Unified Communications Manager Assistant の共有回線モードでの電話機のセットアップ \(9 ページ\)](#)
- [Cisco Unified Communications Manager からの特定のマネージャ/アシスタントアソシエーションの削除](#)

Cisco Unified CM Assistant に関連する詳細については、次のドキュメントを参照してください。

- *Cisco Unified Communications Manager 機能設定ガイド*
- 『*Cisco Unified Communications Manager Assistant User Guide*』

## 翻訳について

このドキュメントは、米国シスコ発行ドキュメントの参考和訳です。リンク情報につきましては、日本語版掲載時点で、英語版にアップデートがあり、リンク先のページが移動/変更されている場合がありますことをご了承ください。あくまでも参考和訳となりますので、正式な内容については米国サイトのドキュメントを参照ください。